



2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 クックビズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6558 URL <https://corp.cookbiz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪ノ 賢次
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部 (氏名) 餌取 達彦 TEL 06-7777-2133
 エグゼクティブマネージャー
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第1四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-----|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年11月期第1四半期 | 772 | △14.0 | △84 | — | △87 | — | △107 | — |
| 2024年11月期第1四半期 | 899 | 57.4 | 96 | 126.2 | 93 | 111.4 | 65 | 142.4 |

(注) 包括利益 2025年11月期第1四半期 △107百万円 (—%) 2024年11月期第1四半期 65百万円 (142.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年11月期第1四半期 | △38.39 | — |
| 2024年11月期第1四半期 | 23.42 | 23.31 |

(注) 2025年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年11月期第1四半期 | 3,529 | 1,390 | 38.0 |
| 2024年11月期 | 3,757 | 1,493 | 38.5 |

(参考) 自己資本 2025年11月期第1四半期 1,340百万円 2024年11月期 1,447百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年11月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年11月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年11月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2025年11月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,500 | 6.8 | 175 | 87.3 | 130 | 56.3 | 112 | — | 40.23 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

第2四半期累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|---------------|------------|---------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年11月期 1 Q | 2,795,041株 | 2024年11月期 | 2,795,041株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年11月期 1 Q | 7,054株 | 2024年11月期 | 7,054株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2025年11月期 1 Q | 2,787,987株 | 2024年11月期 1 Q | 2,783,978株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2025年4月14日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、主に飲食業界に特化した人材サービス及び投資事業による水産物の冷凍加工業を展開しております。

当社は2007年の創業以来、一貫して飲食業界に特化した人材サービスを展開しており、2024年12月に、事業の方向性を明確化し、食産業の発展のためには「人」がもっとも大事である、という事業の原点に立ち返り、新たなミッション・ビジョンを制定いたしました。

ミッション：「食」は「人」

ビジョン：Empower the Food People

当社グループは、「人」を起点に築いてきた事業をさらに成長させながら、2020年の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックによる影響を背景に進めてきた「人」ビジネスを礎とする事業の多角化を進め、新たな事業領域に挑戦し、積極的な投資を通じて事業規模を拡大させてまいります。

当第1四半期連結累計期間におきまして、HR事業では企業の求人需要が引き続き高い水準で推移しました。このような環境下、当社は2022年より提供を開始した「採用総合パッケージ」を強化し、新たに「採用総合パッケージLite」を導入いたしました。本サービスは、人材紹介・求人広告・スカウトなどの既存サービスを組み合わせたワンストップ型の採用支援であり、Liteプランは従来のプランに比べて柔軟な価格設定が可能です。これにより、より幅広い顧客層の採用課題に対応し、サービスのさらなる拡大を目指してまいります。

また、投資事業であるきゅういち株式会社においては、引き続き鮮魚およびホタテの販路拡大に注力してまいりました。前連結会計年度より開始したECサイト販売において、当第1四半期連結会計期間より大手ECサイトである楽天市場に出店をいたしました。従前のホールセール販売だけでなく、飲食店への販売の強化およびECサイトを通じた一般消費者への直接販売促進に取り組んでまいりました。

しかしながら、HR事業においては、例年第1四半期の期間が季節的な閑散期であることに加え、前連結会計年度より取り組んでいる生産性の回復に関する課題が依然として残っております。また、投資事業においては、前年同期が豊漁の影響を受けて好調だった一方で、当第1四半期は例年よりも漁獲量がやや少ない傾向にありました。このため、両事業におきまして前年同期比で減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は772,984千円（前年同四半期比14.0%減）となりました。

損益面におきましては、売上高の減収に伴い、営業損失は84,043千円（前年同四半期は営業利益96,007千円）、経常損失は87,689千円（前年同四半期は経常利益93,182千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は107,031千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益65,190千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度におきまして「事業再生・成長支援」セグメントとしていた事業は、当連結会計年度より対象会社の事業成長・成長支援に限定せず、幅広く投資を行うため、「投資事業」にセグメント名称を変更しております。

①HR事業

HR事業は、クックビズ株式会社において、飲食業界に特化した求人情報サイト「cookbiz」を運営しており、当該サイトを通じて、コンサルタントを介した有料職業紹介を行う「人材紹介サービス」、求人情報を求職者に提供する「求人広告サービス」、ダイレトリクルーティングサービスを提供する「スカウトサービス」、「採用総合支援サービス」を展開しております。また、連結子会社であるワールドインワーカー株式会社による特定技能外国人人材紹介・登録支援等の事業及び研修サービス、CAST事業等を「その他」に分類しております。

同事業におきましては、前年同四半期は新型コロナウイルス感染症の影響からの回復基調により、例年の季節性を超えて好調に推移した一方で、当第1四半期連結累計期間は、従来の季節性影響を受けたことに加え、前年度からの営業人員の生産性回復が十分に進まず、前年同四半期の水準には及びませんでした。

その結果、当セグメントにおける売上高は414,574千円（前年同四半期比22.1%減）、セグメント損失は77,571千円（前年同四半期はセグメント利益35,961千円）となりました。

※ cookbiz：当社は人材紹介サービス及び求人広告サービスともに「cookbiz」の同一ブランドにて展開してまいります。

②投資事業

投資事業は、投資候補先のソーシング、選定交渉および投資先の経営のモニタリングを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、事業投資部を新設し、M&A案件獲得のためのパイプラインを構築、強化するとともに、複数の投資候補案件の検討を実施しました。また、投資事業傘下のきゅういち株式会社はホタテ・ホッケ・サバ等の冷凍加工業を行っており、主に道南エリアの漁業協同組合等から買付を行い、冷凍加工後、商社、大手水産加工会社等へ販売することを主要事業としております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、きゅういち株式会社において南かやべ地域におけるイナダ・ブリ、フクラゲ、サバ等の水揚げ量が例年よりも減少した影響をうけたものの、ホタテの販売にも注力し、取引の拡大に努めてまいりました。前年同四半期の鮮魚における漁獲が豊漁であった反動もあり、売上高はやや減少したものの、総じて安定した販売を継続いたしました。

その結果、当セグメントにおける売上高は358,409千円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

セグメント損益につきましては、前述の鮮魚の漁獲量の低下に伴い、従来、売上原価率の低い鮮魚の売上高構成比率が下がったことにより、前年同四半期と比較し売上原価が高まり、セグメント損失10,371千円（前年同四半期はセグメント利益54,045千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ227,750千円減少し、3,529,804千円となりました。その主な要因は、売掛金が151,672千円、前払費用が20,094千円、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が純額で6,791千円増加したものの、現金及び預金が330,629千円、商品及び製品が50,601千円減少したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ124,942千円減少し、2,139,342千円となりました。その主な要因は、未払金が27,662千円増加したものの、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を除く)が72,041千円、未払法人税等が46,354千円減少したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ102,807千円減少し、1,390,461千円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が107,031千円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2024年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,237,162 | 1,906,533 |
| 売掛金 | 188,728 | 340,400 |
| 未収入金 | 103,846 | 100,192 |
| 商品及び製品 | 213,546 | 162,945 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,487 | 11,058 |
| 前払費用 | 38,916 | 59,011 |
| その他 | 1,204 | 6,962 |
| 貸倒引当金 | △3,046 | △3,569 |
| 流動資産合計 | 2,788,846 | 2,583,535 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 104,903 | 99,339 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 197,541 | 192,263 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 24,409 | 22,620 |
| 土地 | 49,733 | 49,733 |
| リース資産(純額) | 11,808 | 13,221 |
| 建設仮勘定 | — | 165 |
| 有形固定資産合計 | 388,396 | 377,344 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 1,083 | 1,050 |
| ソフトウェア | 370,163 | 350,779 |
| ソフトウェア仮勘定 | 46,820 | 72,995 |
| のれん | 47,555 | 46,156 |
| 無形固定資産合計 | 465,622 | 470,982 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 67,890 | 67,989 |
| 長期前払金 | 4,950 | 5,940 |
| 繰延税金資産 | 41,711 | 23,875 |
| その他 | 137 | 137 |
| 投資その他の資産合計 | 114,688 | 97,942 |
| 固定資産合計 | 968,708 | 946,268 |
| 資産合計 | 3,757,554 | 3,529,804 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,536 | 30,523 |
| 短期借入金 | 225,000 | 225,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 288,164 | 282,317 |
| 未払金 | 104,835 | 132,498 |
| 未払費用 | 120,835 | 116,545 |
| 未払法人税等 | 48,199 | 1,845 |
| 未払消費税等 | 37,161 | 26,675 |
| 契約負債 | 88,177 | 69,363 |
| 賞与引当金 | 47,623 | 27,760 |
| 返金負債 | 4,603 | 6,335 |
| 預り金 | 19,908 | 17,543 |
| リース債務 | 3,516 | 4,159 |
| その他 | 12 | 5 |
| 流動負債合計 | 994,574 | 940,574 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,232,185 | 1,160,144 |
| リース債務 | 10,176 | 11,218 |
| 資産除去債務 | 27,349 | 27,405 |
| 固定負債合計 | 1,269,710 | 1,198,768 |
| 負債合計 | 2,264,285 | 2,139,342 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 762,273 | 762,273 |
| 資本剰余金 | 755,273 | 755,273 |
| 利益剰余金 | △70,140 | △177,172 |
| 自己株式 | △273 | △273 |
| 株主資本合計 | 1,447,132 | 1,340,101 |
| 新株予約権 | 46,136 | 50,360 |
| 純資産合計 | 1,493,269 | 1,390,461 |
| 負債純資産合計 | 3,757,554 | 3,529,804 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 899,065 | 772,984 |
| 売上原価 | 290,428 | 340,605 |
| 売上総利益 | 608,636 | 432,378 |
| 販売費及び一般管理費 | 512,628 | 516,422 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 96,007 | △84,043 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 304 | 906 |
| 利子補給金 | 1,246 | — |
| 受取賃貸料 | 999 | 1,120 |
| その他 | 250 | 310 |
| 営業外収益合計 | 2,801 | 2,337 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,627 | 5,886 |
| その他 | — | 96 |
| 営業外費用合計 | 5,627 | 5,983 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 93,182 | △87,689 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1,537 |
| 特別損失合計 | 0 | 1,537 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 93,182 | △89,227 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 20,823 | △31 |
| 法人税等調整額 | 7,167 | 17,835 |
| 法人税等合計 | 27,991 | 17,804 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 65,190 | △107,031 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 65,190 | △107,031 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 65,190 | △107,031 |
| 四半期包括利益 | 65,190 | △107,031 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 65,190 | △107,031 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 7,315千円 | 35,994千円 |
| のれんの償却額 | 1,398 | 1,398 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結財務諸表計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------|---------|---------|--------------|-----------------------|
| | HR事業 | 投資事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 532,451 | 366,613 | 899,065 | — | 899,065 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 532,451 | 366,613 | 899,065 | — | 899,065 |
| セグメント利益 | 35,961 | 54,045 | 90,007 | 6,000 | 96,007 |

(注) 1. セグメント利益の調整額6,000千円の主な内容は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものがあります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度において非連結子会社であったワールドインワーカー株式会社を当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことから「HR事業」においてのれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結会計期間において、51,751千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年12月1日 至 2025年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結財 務諸表計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------|---------|---------|--------------|---------------------------|
| | HR事業 | 投資事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 414,574 | 358,409 | 772,984 | — | 772,984 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 414,574 | 358,409 | 772,984 | — | 772,984 |
| セグメント損失 | △77,571 | △10,371 | △87,943 | 3,900 | △84,043 |

(注) 1. セグメント損失の調整額3,900千円の内容は、セグメント間の取引高相殺消去に係るものであります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、対象会社の事業再生・成長支援に限定せず、幅広く事業投資を行うため、セグメント名称を従来の「事業再生・成長支援」から「投資事業」に変更しております。なお、セグメント名称の変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の報告セグメントの名称で記載しております。